

第4回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	平成29年2月3日(金)			
開催時間	開 会	午前10時30分	閉 会	午前11時10分
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市区長会 南箕輪村 伊那中央行政組合 伊那商工会議所 箕輪町商工会 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那バス株式会社 ジェイアールバス関東株式会社 中央道支店 有限会社 白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会 南信支部 伊那市観光協会 上伊那PTA 連合会 信州大学 公募	山岸 康弘 小森 博人 伊藤 徹 矢野 昌史 小河 節郎 中川 博夫 伊藤 政志 伊藤 清 福澤 信義 名和 進 白川 光朗 北原 由基雄 宮澤 正巳 漆戸 正彦 鈴木 純 杉山 祐樹		
欠席者	箕輪町区長会 伊那市社会福祉協議会 伊那市保育園保護者会 伊那市ふるさとメッセンジャー	馬場 恭平 矢澤 秀樹 尾崎 航也 高沖 清乃		
委員以外の出席者	上伊那地方事務所地域政策課長	池内 武久		
出席した事務局職員	伊那市総務部地域創造課長 箕輪町企画振興課政策調整担当課長 南箕輪村地域づくり推進課長 伊那市総務部企画課長 伊那市総務部地域創造課人口増推進係長 伊那市総務部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長 南箕輪村地域づくり推進課	宮原 貴敏 今井 政文 田中 俊彦 飯島 智 伊藤 透 伊藤 貴 鈴木 清次 浦嶋 一馬		
議 事	(1) 伊那地域定住自立圏共生ビジョンの改訂について (2) 具体的取組の進捗状況について(報告) (3) 共生ビジョンの進行管理について (4) その他			

配布資料	資料1 伊那地域定住自立圏共生ビジョン【第2版】(案) 資料1-1 伊那地域定住自立圏共生ビジョン 新旧対照表 資料2 定住自立圏構想に係る路線バス運行概要について 資料3 共生ビジョンの進行管理について
------	---

## 1 開会

副会長より開会が宣言される。

(事務局) 欠席者の報告 馬場副会長、矢澤委員、尾崎委員、高沖委員

## 2 あいさつ

(会長) 本日の協議会では、共生ビジョンの改訂とすでに取り組が始まっている地域公共交通の取り組みについて事務局より説明がある。委員各位の活発な議論とご協力をお願いしたい。

## 3 会議事項(進行 山岸会長)

(1) 伊那地域定住自立圏共生ビジョンの改訂について

(会長) 事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料1「伊那地域定住自立圏共生ビジョン【第2版】(案)」及び資料1-1「新旧対照表」で説明)

(会長) ただいまの内容について、意見・質問等はあるか。

(意見・質問なし)

(2) 具体的取組の進捗状況について(報告)

(会長) 事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料2「定住自立圏構想に係る路線バス運行概要について」で説明)

(会長) ただいま内容について、意見・質問等はあるか。

(委員) バスの運行、内回り便の復活で利便性向上が期待できる。3市町村を縦断する路線について、有機的な連絡系統を検討しており、地域の高齢者の免許返納とかにカバーできると思っており、非常に良い案を構築いただいた。内回り便について質問したい。現在、外回り便は市役所を出て、左に曲がった後、綿半前の交差点からアピタ方面に入るわけだが、道路の安全上考えると、右折をして入っていくことはネックではないか。ここで内回り便ができるとなると、危険性が増すのではないか。交通の円滑化を考えた場合に工夫をする予定があるのか、伺いたい。

(事務局) 内回り便は以前に実証していた路線の復活となる。危険な個所としてご指摘いただいた点については、車線の通行上、厳しいと認識している。どういった安全策が取れるのか、ルート変更をすることは難しいかと思うが、独自便を運航している伊那バスと事務レベルで検討していく。また、昨年度から5年間かけてコミュニティバスの総合的な見直しを路線ごと地域住民と始めているので、今後の見直しの中で検討していきたい。

(委員) 先ほど示されたビジョンの目標値について、終了年度が平成32年度となっているが、路線バスについての終了年度は平成33年度となっている。進捗管理をするうえで、目標値を設定する場合には、平成32年で統一した方が良いのではないか。

(事務局) 御指摘いただいたとおり、共生ビジョンとバス路線については、1年のずれがある。当初、定住自立圏の事業を平成29年度から実施する予定であったが、運行開始に伴う準備が運行開始と同時では間に合わないため、前倒しを行った。その結果、事業全体の実施期間が今年度から32年度までの5年間となっている。33年度以降の継続の適否については、5年間の実施結果を皆様に判断いただく予定だが、バス運行については、車両購入費を5年間に分割して運行経費に上乘せしていく計画であるため、平成33年度まで、継続していく計画としている。

御指摘いただいたとおりであるので、KPIの整合性については事務局と調整をしながら整合性を図っていく。

(3) 共生ビジョンの進行管理について

(会長) 事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料3「共生ビジョンの進行管理について」で説明)

(会長) 意見・質問等あるか。

(意見・質問なし)

(4) その他

(会長) 委員の皆さんや事務局からあるか。

(事務局) それぞれの事業については共生ビジョン改訂内容のとおり、目標をもって進めていく。

バス以外の事業について、空き家バンク事業は、3市町村統一の空き家バンクホームページの4月からの開設に向け、準備を行っている。子育て関連事業のうち、病児・病後児については、現在、伊那中央行政組合による病児保育の実施に向けて準備を進めている。また、子育て支援拠点施設の相互利用についてはさらなる充実につながる新たな子育て拠点施設の整備を伊那、南箕輪で進めている。

(委員) PDCAサイクルについて、Cについて、年間でどれくらい機会があるのか。それを踏まえて、Aはどのような形で実施していくのかお伺いしたい。

(事務局) 事業を担当する部署で検証後、共生ビジョン協議会へ報告し、必要な改善を行っていく。平成28年度の実施状況については6月頃の共生ビジョン協議会で報告させていただく。必要に応じて、ビジョンの改訂も含め、お集まりいただいて、検証、次の改善へつなげていく。

4 その他

(事務局) 本日の会議録及び配付資料は、公式ホームページに掲載させていただく。

次回の開催については、6月頃に平成28年度の取組の結果について協議いただく予定。

5 閉会

副会長より、閉会が宣言される。